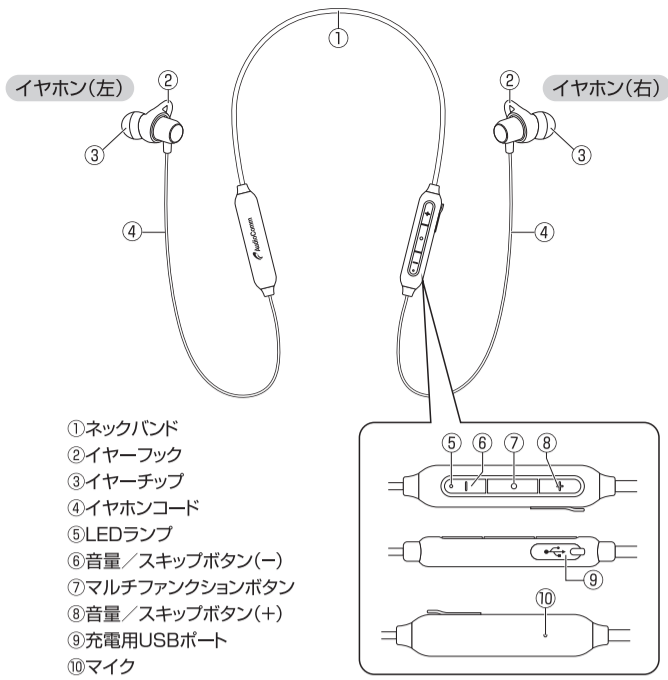


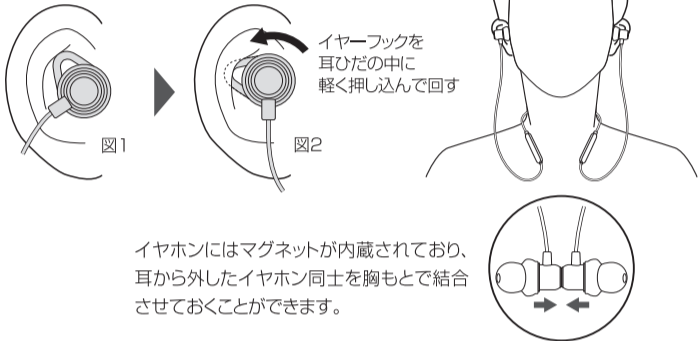
各部の名称



- ①ネックバンド
- ②イヤーフック
- ③イヤーチップ
- ④イヤホンコード
- ⑤LEDランプ
- ⑥音量/スキップボタン(-)
- ⑦マルチファンクションボタン
- ⑧音量/スキップボタン(+)
- ⑨充電用USBポート
- ⑩マイク

本機の装着方法

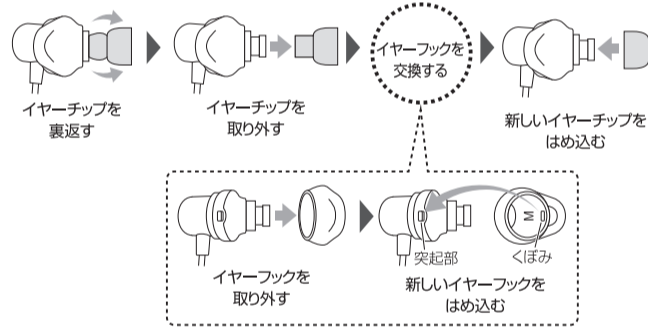
イヤーチップ部を耳穴に合わせて軽く入れます(図1)。次にイヤホン自体を回しながらイヤーフックを耳ひだの中に軽く押し込んで回し、安定する位置に装着してください(図2)。



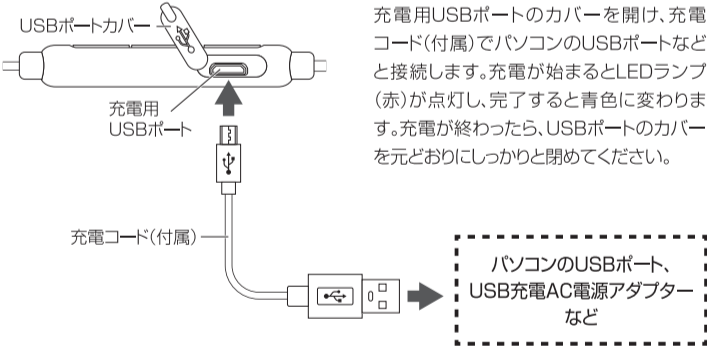
イヤホンにはマグネットが内蔵されており、耳から外したイヤホン同士を胸もとで結合させることができます。

イヤーチップとイヤーフックの交換方法

- イヤーチップ、イヤーフックともに3種類(S、M、L)が付属しています。フィットするサイズを選んでご使用ください。
- イヤーチップ、イヤーフックともに工場出荷時はMサイズが装着されています。また、いずれも形状は左右共通です。
- イヤーフックの交換は、イヤーチップを取り外した後、ハウジングの突起部とイヤーフック内側のくぼみ合わせるようにはめ込んでください。



充電のしかた

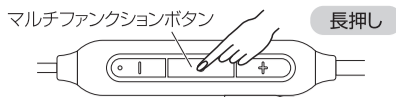


充電用USBポートのカバーを開け、充電コード(付属)でパソコンのUSBポートなどと接続します。充電が始まるとLEDランプ(赤)が点灯し、完了すると青色に変わります。充電が終わったら、USBポートのカバーを元どおりにしっかりと閉めてください。

ヒントとご注意

- USBポートのカバーは強く引き出さないでください。接続部が切れるおそれがあります。
- はじめてお使いになるときは、十分に充電してからご使用ください。
- 充電中は本製品を使用できません。
- 充電には必ず付属の充電コードをご使用ください。また、付属の充電コードは他の製品には使用しないでください。
- 本機を充電するには電源供給ができるUSBポートに接続する必要があります。また、本機とパソコンは直接つないでください。USBハブなどを介してつなぐと正常に充電されません。
- 充電中にパソコンが省電力モードになると正しく充電されませんのでご注意ください。
- 家庭用コンセントで充電する場合はUSB充電AC電源アダプター(別売)をご利用ください。
- 残量ゼロからフル充電までは約1.5時間かかります。十分に充電したにも関わらず持続時間が半分程度になった場合は、電池の寿命と考えられます。
- 許容動作環境(温度: 0℃~40℃、湿度: 20~80% 結露なしにて)を逸脱した環境下で充電した場合、充電が完了していてもLEDランプが青色に変わることがあります。適正な環境下で再度試し、それでも問題が解決しない場合は弊社修理ご相談センターにご連絡ください。
- 電池残量が少なくなると、「バッテリーロー」の音声が流れ、LEDランプ(赤)が7秒ごとに1回点滅するようになります。その後、しばらくすると電源が切れますので、直ちに充電してください。
- 長期間使わなかったときは電池の持続時間が短くなる場合があります。何回か充電を繰り返すと、十分に充電できるようになります。電池の寿命を延ばすため、未使用時でも3ヶ月ごとに充電し直すことをおすすめします。

電源のオン/オフ



電源オン

マルチファンクションボタンを、2秒間長押しすると電源が入ります。「パワーオン」の音声が流れてLEDランプ(青)が点滅した後、「ペアリング」の音声とともに、LEDランプが赤と青の速い交互点滅になります(ペアリングモード)。はじめて使うときは、ペアリングが必要です。「ペアリング(初期登録)のしかた」を参照して操作してください。

電源オフ

電源が入っているときに、マルチファンクションボタンを3秒間長押しすると電源が切れます。LEDランプ(赤)が1秒間点灯した後、消灯し、「パワーオフ」の音声が流れて電源が切れます。

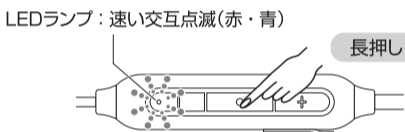
ヒントとご注意

- 自動電源オフ機能について: ペアリングが完了していない状態やBluetooth接続が解除された状態が約5分間続くと、節電のため自動で電源が切れます。
- Bluetooth接続中は、無動作状態(音楽などを聴いていない状態)が続いた場合でも自動的に電源は切れません。そのままかばんなどにしまうと、電池を消耗するだけでなく、電話着信などに気づかないことがありますので、必ず本機の電源を切ってください。
- Bluetooth接続中に音声が途切れたり、電子音が流れてペアリングモードになる場合は、
 - ・本機とBluetooth機器との間に障害物がある
 - ・所定の通信距離以上に離れている
 - ・本機またはBluetooth機器の電池残量が減少している
 が原因として考えられます。障害物の有無や両者間の距離、電池残量を確認してください。

ペアリング(初期登録)のしかた

ペアリングとは、本機をBluetooth機器(相手側機器: 携帯電話やBluetooth対応ワイヤレス音楽プレーヤーなど)に初期登録する操作のことです。はじめて使うときは必ずペアリングを行なってください。

- 1 本機の電源が切れていることを確認し、本機と登録したい相手側機器を手元に用意します。
 - 両機器の間には障害物を置かず、1m以内にしてください。
 - 相手側機器は電源が入っている状態にしてください。
- 2 マルチファンクションボタンを長押しして、本機の電源を入れます。
 - 電源が入った後、「ペアリング」の音声が流れて、ペアリングモード(Bluetooth機器を探している状態=LEDランプが赤と青の速い交互点滅)になります。



- 3 相手側機器で本機を登録してください。

Bluetoothの設定画面を開く

iPhone: [設定]→[Bluetooth]
 Android: [設定]→[その他の設定]→[Bluetooth]
 [設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]
 NTT docomo: [アプリ]→[設定]→[Bluetooth]
 SoftBank: [設定]→[端末設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth]
 au: [設定]→[端末設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]
 Windows Mobile: [設定]→[接続]→[Bluetooth]

上記は参考例です。機種や搭載OSのバージョンなどにより、ボタンや項目の名称、画面展開が異なります。各機器付属の取扱説明書を参照してBluetooth機器の検索・登録画面へ順次進んでください。

本機を登録する

相手側機器で本機の名称「HP-W215N」が表示されたら、それを選択して登録します。パスキーやPINコードを求められた場合は「0000」と入力してください。※携帯電話によってはご自身で設定されたパスコードが必要な場合があります。

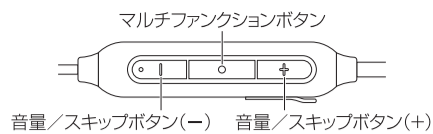
ペアリングが完了すると...

「コネクトィッド」の音声が流れて、ペアリングが完了し、LEDランプは10秒ごとに1回青く点滅するようになります。相手側機器で再生などの操作を行なってください。一部の機器では、マルチファンクションボタンを1回押すと再生を始められるものもあります。

ヒントとご注意

- 対応プロファイル: 本機はBluetooth標準規格 Ver.5.0(プロファイル: HFP、A2DP、AVRCP)に対応しています。複数のプロファイルに対応している機器の中には、プロファイルの選択が必要な機種もあります。その場合は、上記のいずれかを選択してください。上記以外のプロファイルでの動作は保証しかねます。
- 本機は最大8台のBluetooth機器を登録できます。8台を超えて登録しようとする古いものから削除されます。
- 接続しようとしている相手側機器が他の周辺機器とBluetooth通信を行なっているときは、本機とのペアリング操作ができないことがあります。その際は、他機との接続を解除したうえで本機とのペアリングを行なってください。
- ペアリングモードのまま約5分が経過すると、本機は自動的に電源が切れます。必要に応じて、もう一度最初からやり直してください。
- 一度登録後、ご使用中に接続がうまく行かなくなったり、正常に動作しなくなったときは、ペアリング操作を再度行なってください。
- 最後に使用したペアリング済み相手側機器の電源が入っており、Bluetooth機能も有効なときは、本機の電源を入れると自動的に接続されます。ただし、機種によってその都度接続操作が必要な場合は、機器付属の取扱説明書を参照し、本機との接続を確立してからお使いください。
- 意図しない機器と接続されてしまう場合は、その機器の電源を切るかBluetooth機能をオフしてから操作をやり直してください。
- 本機にはマルチポイント機能があり、同時に2台の携帯電話の待ち受けが可能です。マルチポイント機能を使う場合は、「マルチポイント機能を使う」の項を参照して、別途設定してください。

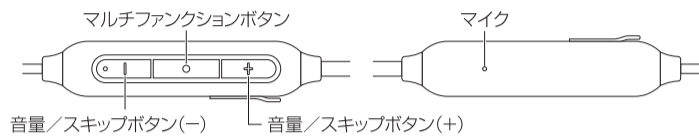
オーディオコントロール



ボタン	短く押す	長押し
マルチファンクションボタン	再生/一時停止※	本機の電源を切る
音量/スキップボタン(+)	音量を上げる(最大音量に達すると電子音が鳴ります)	次の曲を再生
音量/スキップボタン(-)	音量を下げる	聴いている曲の先頭に戻って再生(長押し直後にもう一度長押しすると1つ前の曲に戻って再生)

※一部の機器では、Bluetooth接続直後にマルチファンクションボタンを押すと、再生を開始できるものもあります。※接続する相手側機器や使用するアプリにより、動作が異なっていたり、一部の機能が動作しない場合があります。

携帯電話の操作



動作	操作方法
電話に出る	着信音が鳴っているときにマルチファンクションボタンを押す
電話を切る	通話中にマルチファンクションボタンを押す
着信拒否	着信音が鳴っているときにマルチファンクションボタンを2回続けて押す
リダイヤル	待ち受け中にマルチファンクションボタンを2回続けて押す

※音量/スキップボタン(-/+)により、音量調節が可能です。

ヒントとご注意

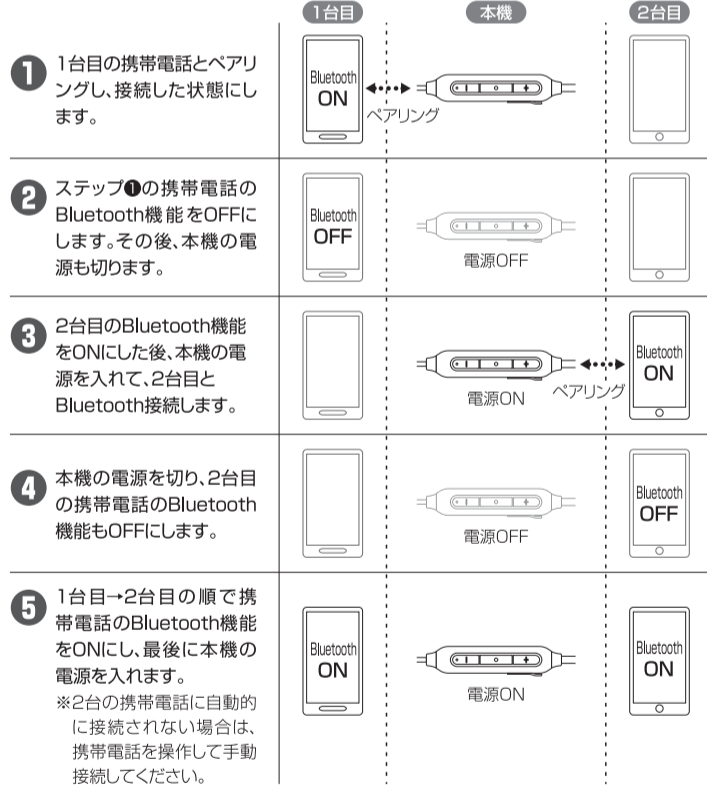
- 通話時はマイク部を指先や衣類でふさがないようにご注意ください。
- リダイヤルについて: リダイヤル先は最後に発信した相手となります(着信した相手へのリダイヤルはできません)。
- お使いの機種によっては、携帯電話側で着信音や通話音声の出力設定が必要な場合があります。本機にて通話したい場合は、各機器付属の取扱説明書を参照し、本機スピーカーを選択してください。
- 着信音について: 携帯電話の機種や設定によっては、着信音が本機から1回だけ聴こえたり、その後は携帯電話側から通常の着信音出力される場合があります。

携帯電話の音声アシスタントについて

マルチファンクションボタンを2秒間長押しすると、携帯電話に搭載されている音声アシスタント(Siriなど)を呼び出すことができます(画面ロックが解除されていない場合や、通話中を除く)。音声アシスタントを終了するときは、マルチファンクションボタンを1回押ししてください。※2秒を超えて長押しすると、本機の電源が切れますのでご注意ください。

マルチポイント機能を使う

マルチポイント機能を使うと、2台の携帯電話を待ち受けすることができます。以下の手順で設定してください。



ヒントとご注意

- いずれかの携帯電話に着信(呼び出し)があった場合: マルチファンクションボタンを押すとその電話に出ることができます。
- 2台とも着信があり、呼び出し中の場合: マルチファンクションボタンを押すと、最初にかかってきた携帯電話とつながります。
- 通話中にもう一方の携帯電話にも着信があった場合:
 - ・マルチファンクションボタンを2回続けて押すと、通話中の携帯電話は保留になり、後からかかってきた電話に出ることができます。
 - ・もう一度マルチファンクションボタンを2回続けて押すと、後からかかってきた電話を保留し、元の電話(最初にカかってきた電話)との通話を再開します。通話が終了すると2台とも待受状態になります。
- 携帯電話の機種によっては、マルチファンクションボタンによる操作で通話を終了することができない場合があります。その場合は相手に通話を切ってもらるか、携帯電話側で操作をしてください。
- リダイヤル機能について:
 - ・1台目の携帯電話のみリダイヤル機能が有効で、最後に発信した番号に電話をかけます。
 - ・ご注意: 携帯電話の機種によっては、ロックがかかっているとリダイヤル機能を使えない場合があります。
- マルチポイント機能が使えするのは携帯電話のみです。パソコンやゲーム機との同時待受はできません。
- 本機と接続した2台の携帯電話を3者間通話などで同時に使うことはできません。
- この機能はすべてのBluetooth対応携帯電話での動作を保証するものではありません。